

# 電子指示書システムでできること(診療所・獣医師)

- 農場ごとの処方を登録したり、過去の指示書を参照できるので、速やかに指示書を作成できる。



- スマホで指示書が送付できる。  
(生産者だけでなく、診療所・農場を所管する都道府県へも一度に提出できる。)



- 生産者の記録を確認できるため、今後の指導に参照できる。(生産者が使用記録に入力しており、かつ、獣医師に閲覧を許可した場合。)

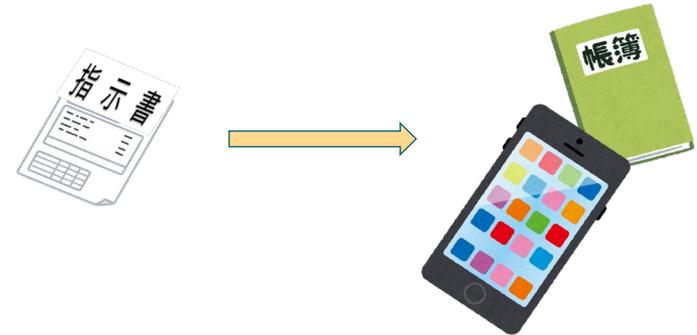
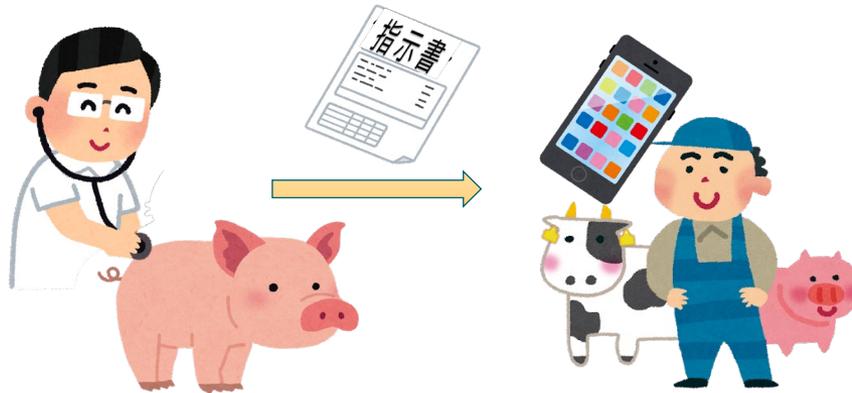


- 蓄積した電子指示書データで、自分の指示した医薬品の処方量や使用量を算出できる。  
※他県や全国と比較が可能

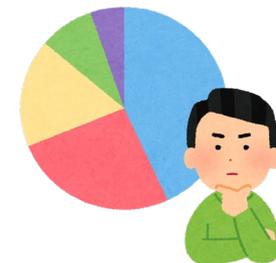
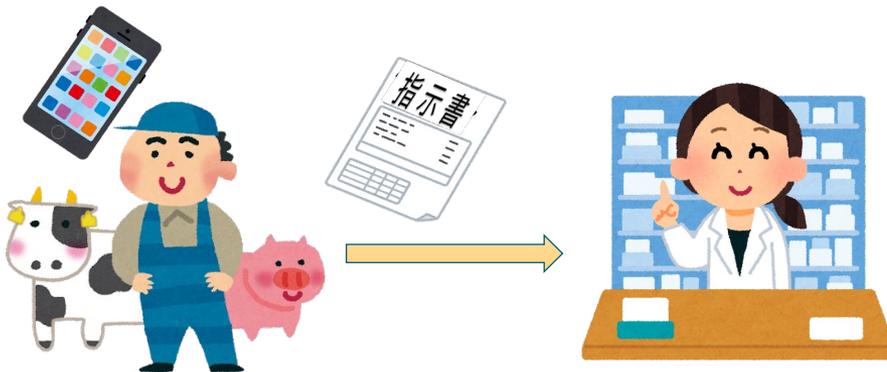


# 電子指示書システムでできること(生産者)

- スマホで指示書の受け取りができる。過去に受け取った指示書の閲覧が容易になる。
- 指示書内容を引用して使用記録がつけやすくなる。過去の使用記録の閲覧が容易になる。



- 指示書を希望する販売店に送付できる。
- 蓄積した電子指示書データで、自分の農場での医薬品の処方量・使用量を算出できる。  
※他県や全国と比較が可能



# 電子指示書システムでできること(販売店)

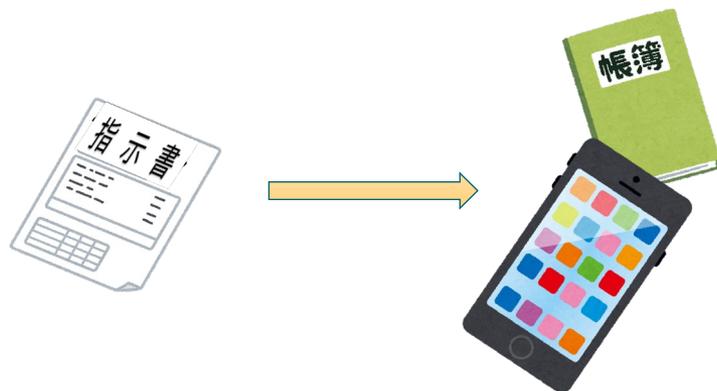
- 電子で指示書が受け取れ、指示書を受け取りにいく手間が省ける。指示書の管理が容易になる。



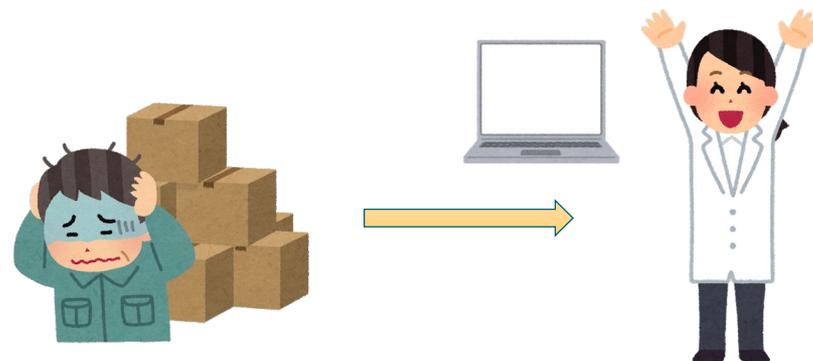
- 指示書項目の不備による修正の依頼がシステム上でできる。



- 指示書内容を引用して販売記録(帳簿)がつけやすくなる。



- 指示書や帳簿をシステム上で保管でき、紙媒体の保管、保管スペースの確保が不要になる。



# 電子指示書システムでできること（都道府県・家保編）

- 所管の農場と診療所の指示書情報が受け取れる。



- 記録された内容を確認しやすくなる。



- 蓄積した電子指示書データで、自県の診療所や農場での医薬品の処方量や使用量が算出できる。  
※他県や全国と比較が可能

